

# DUMA設立の目的

2011年3月11日、未曾有の津波被害をもたらした東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）が発生しました。この地震は地震学界にも大きな衝撃を与えました。それまで地震研究者は東北日本ではマグニチュード9の地震は発生しないと思込んでいたのです。

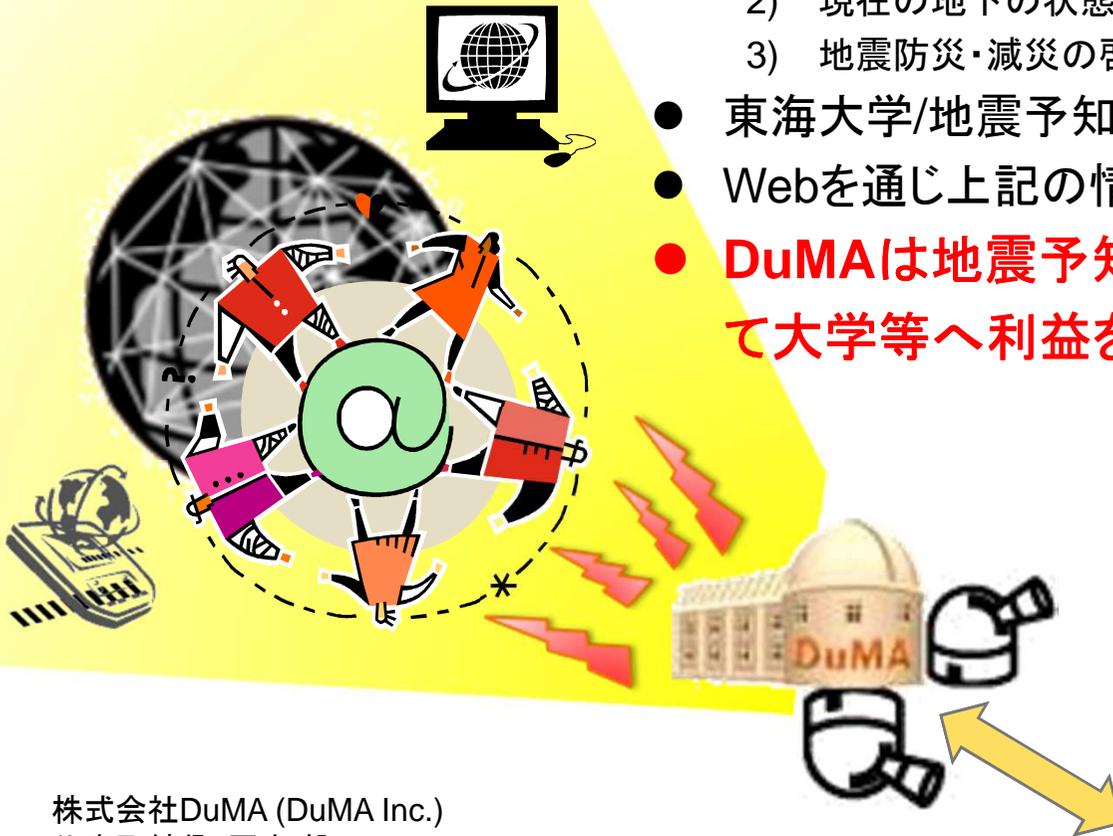
この結果、地震予知研究バッシングが始まりました。特によく聞かれた意見は「これまで何十年に渡り、何千億円も予知研究につき込んできたのに、東日本大震災が予知できないのであれば、予知などやめてしまえ」というものでしょう。

実はこれは大きな間違いです。一番の問題は国民の皆様が思うような「地震予知研究」というものはほとんど行われていないのです。さらに「これまで何千億円もつき込んだ」というのも事実と反しているのです。

現在「予知研究」の名で行われているのは、長中期の予測や地下の構造の調査で、「明日関東地方に大地震の可能性がある」というような研究は全くと言って良いほど行われていないのです。

# DuMA Inc., (Down Under Meteorological Agency) は、、、

- 地下気象研究所という意味です。
- 下記の目的で2011年9月1日に設立されました。
  - 1) 地震の予測及びその前兆情報に係る情報提供サービス
  - 2) 現在の地下の状態の適切な解説情報の提供
  - 3) 地震防災・減災の啓発活動の推進
- 東海大学/地震予知研究センター と連携を組んでいます。
- Webを通じ上記の情報提供サービス業務を行います。
- **DuMAは地震予知研究推進のため、寄附等を通じて大学等へ利益を還元する事を目的としています。**



株式会社DuMA (DuMA Inc.)  
代表取締役:岡本 毅  
取締役CTO:長尾年恭  
本社:千葉県柏市十余二380番地  
設立:2011年9月1日



日本にとって極めて重要な直前地震予知の達成を目指して、1995年に設置された研究センターです。本センターでは、地震を地域内部の破壊現象として捉え、その破壊時に発生する電磁気学的な変化を定量的に観測するシステムの構築を目指しています。

# DuMAではRTM法という地震活動度解析のアルゴリズムによる **地下天気図**<sup>TM</sup>による地震活動の現状と予測情報を配信します

昔から大地震の前には地震活動が変化  
する可能性が指摘されてきました。  
特に顕著な前兆現象と考えられてい  
たのは大地震の前に通常より地震活  
動が低下する現象(地震活動静穏化)  
です。DuMAはこれに着目します。

DuMAが用いるRTM法は、地震活  
動の微細な変化を効率的に抽出する  
方法です。

東日本大震災を始め、阪神大震災  
や2003年十勝沖地震等でも事後の解  
析で前兆的变化が存在していた事が  
わかりました。これを後予知ではなく、  
リアルタイムに情報提供する事を目指  
します。

